

せたふく会編集局

この紙面は、世田谷福祉作業所利用者自治会『せたふく会』が発信する記事です。

利用者のつぶやき
Tweet...



2018 ~ 2019
せたふく会新役員発足！

今日は平和です。



お仕事やらないもん！
……やっぱりやる。



突然、南三陸町に出張！のスペシャル動画を
近日、ホームページで公開予定です。お楽しみに！

Moai

Ah... MATSUSHIMA ya...



せたふく通信 **わいわい** 平成30年6月15日発行
第42号

THE WAI WAI TIMES FRIDAY, JUNE, 15, 2018

今号の注目記事 紙すきの新たなる旅路 すき●の牛丼がせたふくに？

※本紙は新聞なので記事の大半において、敬称略および「である調」による表現を使用しておりますが、発行上の演出であり、お世話になっている方々への感謝と敬愛の念は常に心に留めておりますので、何卒ご容赦ください。



広告 ADVERTISEMENT

わいわい祭
今年も開催！
Saturday, November, 3, 2018
詳細随時

まる見え☆せたふく
August, 2&3, 2018
作業所のすべて、みせます。

歯科検診無事終了
Wednesday, June, 6, 2018
対象：通所者のみ

Attention!

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が運営する25施設と7つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していきますので、ご協力をお願い申し上げます。
〒193-0931
東京都八王子市台町 1-19-3
電話・FAX：042-626-9772

Wanted!

ボランティア募集中

世田谷福祉作業所では、利用者が毎日おこなう作業や、外出・地域交流などのさまざまなイベントをお手伝いして下さるボランティアを募集しています。
特に、毎年11月3日(文化の日)に開催している地域交流行事『わいわい祭』においては、企画や運営からご協力いただける方を大募集中です！ご希望の方は作業所までご連絡ください。(田中千絵)

P.S.

編集後記

今年度初発行となる広報紙わいわいです。前年度末から今年度初めにかけて色々なできごとがあり、載せたいことがもりだくさん！こつこつネタを集め、一気にレイアウトして完成♪というところでそのデータが全部消えてしまう緊急事態が…。涙を拭いながら書き直しました…。今年厄年の私ですが、広報担当として、1年間がんばります！
(田中千絵)

4月2日、入所式を開催した。今年は4人の男性が新たに仲間入り。レストランシーブリーズの特注弁当でランチ。そして、喜寿を迎えた方をサプライズでお祝い。和やかな会となったようだ。

今年はカルガモ一家を見ないな…と思っていたら、とうに引っ越しを済ませていたことが判明。別のある日、目の前の公園の大木が立ち枯れたとのことで、跡形もなく引き抜かれた。立て続けに少々淋しい地域のできごと。

家族会より作業所開設50年のお祝いからくり時計の寄贈を賜った。皆が集う食堂に設置。末永く大切にしていきたいと思う。

HUMORABO氏つながりで出会った南三陸町にある「のぞみ福祉作業」へ電撃出張見学に行った。「のぞみペーパー」というオリジナルペーパーを生み出した彼ら。同じ機材を使う者同志（なんならキャリアは我々がちょっと先輩…）、交換研修などしながら、共に手すき紙の世界を盛り上げたいと思うこの頃である。

初めまして、山岸です。伊豆大島からきました。古きと新しきが交じり合うこの街で、一日も早く利用者、ご家族、働く仲間、地域の方々の力になれるように努力して参ります。よろしくお祈りします。

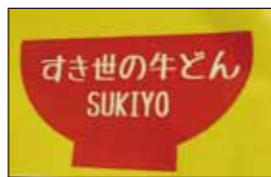


これまでも牛乳パックを原料とした手すき紙で、ハガキや名刺から香り雑貨・アクセサリまでいろいろな商品をいろいろな人たちとつくってきた。この度、新たなコラボが始動。「福祉と遊ぶ」をテーマに、HUMORABO(ユーモラボ)という名で、ご夫婦で活動するデザイナーと、「いろいろな素材でどんな紙ができるか」…ざっくり述べるとそんな感じのラボを開催。ブライダル関係、活版印刷屋、ケータリング関係などさまざまな肩書きを持つ人たちと、あーでもないこーでもないという楽しさの楽しいひと時となった。段ボールを原料にした手すき紙など、漉いた直後はさつま揚げのようにも見えるが、乾燥させると意外に良い味が出たりするものなのだ。新世界に足を踏み入れた紙漉の今後に期待してほしい。(田中ひろみ)



SUKIYOのGYU-DON! せたメシ *Setafuku's Lunch*

5月某日。なにやらどこかで見たことあるような看板が作業所のなかに掲げられ、どこかで見たことあるような名前の牛丼屋が開店した。「いろいろなトッピングで自分だけの牛丼が楽しめる」がコンセプトの『すき世の牛丼』。王道のネギ玉牛丼、おろし牛丼、チーズ、キムチ、温玉…いろいろなトッピングがある。シンプルでいか、ここでしかできないトッピングにはしるか、悩むお客さん達、ものすごいスピードと手際で盛りつけ、提供していく、日本語がカタコトの謎アルバイト。風のようにオープンし、閉店したこの牛丼屋が開店する日はまたくるのだろうか？それはみんなの牛丼愛にかかっている。(中村勘太)



当施設は、屋内での手作業からペンキ塗装や樹木の剪定作業などもやっちゃう何でも屋。近所の平安幼稚園さんからは毎年、こうした作業を受けている。屋外作業では安全のため、カップにゴーグル・マスクで完全防備することも。記録的に暑かった5月、ヒイヒイ言いながらも、園児の皆さんが安心して遊べるよう作業に励んだ。また、3月には我々の手により園の雲梯がリニューアル。元のデザインよりビビットな仕上がりになったが、喜んでもらえる嬉しいのである。(木村東)



Schedule

〔販売会出店予定〕
 ☆6月下旬
 正門前での直売会を実施予定
 ☆7月22日(日)～23日(月)
 せたがやインクルージョン2018
 参加予定
 ☆8月2日(木)～3日(金)
 まる見え☆せたふく内で出店

〔イベント・セミナー情報〕
 ☆6月23日(土)武蔵野会セミナー
 今回は、障害の有無にかかわらず多様性を受け入れる共生社会実現に向けた福祉教育をテーマに基調講演やシンポジウムをおこないます。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

いとくみこの **こんにちは、皆さん!** Hello, Everyone!

いよいよ入梅、新入所の方々はちょっと緊張した2ヶ月も過ぎ、本来の力を発揮し活躍されています。今、作業所では、頂いた羽根木公園の梅の実(梅雨との関連も諸説ありますが)の甘露煮を製造中で、独特のふくいくとした香りに満ちています。そして、この時宜を逸せず、来年度の新卒者の就活ならぬ採活も本格スタート。福祉の現場での人材確保は死活問題です。先日、区内にある大学に知人の教授を訪ね、福祉分野への就職PRをしたところ、教授からは「まったく考えた事もなかった」というお言葉、学部が違うとはいえ少なからず衝撃的でした。私たちは先入観に引きずられる、その先入観をマスコミが作っていることがよくあると、福祉現場への就職について毎日新聞編集委員の野澤氏も書いておられましたが、マスコミに限らず大学や社会福祉法人さえも、福祉の現場は「3K」とか、障害者の事件の背景には職員の待遇の低さや人手不足がある、などと一面的で展望のない繰り言を語ってしまいます。分野に関わらず本当にやりがいのある、自分を生かせる仕事や職場を探している優秀な人材はたくさんいるはず。今こそ福祉の現場から正しい情報をしっかり発信していきたいと思えます。